

# EVERNODE

---

あらゆるDApp。誰にも。永遠に。  
XRP Ledgerから構成される、パーミッションレスで柔軟かつスケーラブルなレイヤー2スマート  
コントラクトネットワーク。

による

スコット・チェンバレンとリチャード・ホランド

2021年7月27日

---

## 1. Evernodeの紹介

1.1 私たちは、「レイヤー2」スマートコントラクトをXRP Ledgerに導入するプロジェクトであるEvernodeを提案します。HotPocket プロトコルと提案されたフックを組み合わせたものです  
修正 - XRP Ledger Accountが「ライトスマートコントラクト」として機能できるようにする小さなコード -  
グローバルでパーミッションレスの分散型ノードネットワークを作成し、あらゆる規模であらゆる言語  
であらゆるdAppを安価かつ迅速に実行するように設計され、インセンティブが与えられます。XRPレ  
ジャー。

## dAppsの約束

1.2 DApps (分散型アプリケーション) は、集中的な所有権や制御を持たずにブロックチェーン上で実行される新  
しい形式のソフトウェアです。DAppsは、従来のアプリケーションよりも安全で信頼性が高くなります。こ  
の許可不要で検閲に耐性のある未来は、自己主権アイデンティティ、プライバシーの向上、分散型金  
融、トークン化された芸術、権利、資産への主流アクセスを約束する未来の重要な構成要素です。

## 初期のDAppプラットフォーム

1.3 初期のdAppプラットフォームは、手数料の高さ、トランザクション時間の遅さ、言語と機能の柔軟性のなさ、  
これらすべてが実行されるブロックチェーンの遺産のため、拡張するのに苦労していました。このよう  
な欠点が、dAppsの主流の採用と、dAppsが提供する利点の実現を妨げてきました。

1.4 これらの制限は、dAppが法的義務または法的関係を自動化する場合に特に深刻です。スケーリングの欠如は必  
然的に、分散型システムであるはずの集中型の「オフチェーン」計算やストレージを意味します。

## エバーノード

1.5 Evernodeはこれらの欠点を克服し、誰もがあらゆる種類のdAppから恩恵を受けることができます。これに  
は4つの主要コンポーネントがあります。

- (a) コンセンサス プロトコル: HotPocket はユニーク ノード リスト (UNL) ベースです。入力と出力にコンセンサス ルールを適用し、共有された正規の状態を維持することにより、複数のマシンがミニ ブロックチェーンになることを可能にするコンセンサス プロトコル。
- (b) ネイティブ通貨: Evernode のネイティブデジタル通貨である Evers は、ネットワークに参加したノードに報酬を与えるために XRP Ledger 上のフックによって配布される XRP Ledger トークンであり、dApps がノードにホスティング料金を支払うために使用されます。
- (c) Evernode Hook: XRP Ledger 上のフック。Evers は、各ノードの Evernode メンバーシップ、dApps をホストする意欲、および Evers での支払いへの同意を確認します。
- (d) DEX: Evernode が Evers とのホスティング サービスの売買を自動化するために使用する XRP Ledger のネイティブ分散型取引所。

1.6 これらのコンポーネントが連携して、信頼性が高く、安全で、信頼性の高い Evernode を作成します。HotPocket ノードの分散型「ネットワークのネットワーク」は、誰でも参加できる XRP Ledger に便乗しており、いつでも誰でも使用できるさまざまな安価で高速な dApp を実行できます。

## ガバナンスゲーム

1.7 Evernode の固有の機能は、Evers の所有者が次のことができることです。ガバナンス ゲームを介して、エバーの分布、ノードの識別、ガバナンス ゲーム自体のルールなど、エバーノード フックの主要なパラメータを競います。

## エコシステムキュレーター

1.8 Evernode は、その管理を支援する正式な非営利財団を設立する予定です。初期のエコシステムとして機能し、オープンソース コードの信頼できるリポジトリとして機能します。

---

## 2. ホットポケット - エバーノードの鼓動

2.1 前述したように、HotPocket コンセンサス プロトコルは、便利なスマート コントラクト開発を促進するコンセンサス エンジンです。これは、リップル コンセンサス プロトコルに似た協調的な UNL ベースのコンセンサス アルゴリズムを使用し、あらゆるトランザクションまたは入力タイプに対して抽象化されます。

2.2 これには 5 つの主要コンポーネントがあります。

- (a) UNL コンセンサス プロトコル: HotPocket は、入力と出力にコンセンサス ルールを適用し、共有された正規の状態を維持することによって、複数の Linux マシンがミニ ブロックチェーンになることを可能にする、ユニーク ノード リスト (UNL) ベースのコンセンサス プロトコルです。
- (b) Rapid State Sync: HotPocket ノードをできるだけ簡単に起動して既存のネットワークに同期できるように設計された追加機能のバンドル。
- (c) 契約ライフサイクル管理: HotPocket は、すべての契約が同じ構成であり、コンセンサスに基づいて契約を自動的にアップグレードできます。

(d)デーモン: HotPocket クラスターは、レイヤー 1 ブロックチェーンにポストされる暗号化されたメッセージを通じてクラスターを調整する「さしもの」と呼ばれるデーモンを通じて、任意のレイヤー 1 ブロックチェーンに「釘付け」できます。

(e)最小限のセットアップ: Hot Pocket を使用すると、新しいノードを最小限の既知の情報で既存の契約に参加させ、新しいノードをクラスターと同期させることができます。

2.3 これらのコンポーネントは連携して、「すぐに使える」ソリューションを提供します。

任意のレイヤー 1 チェーンによって調整または構成された、さまざまな安価で高速な dApp をサポートできるミニブロックチェーンを実行する HotPocket ノードのネットワーク。

---

### 3. EVERS - EVERNODE のネイティブ通貨

3.1 Evers は Evernode のネイティブ通貨として提案されています。これらは XRP Ledger 上に存在するトークンとなり、その配布はフックと呼ばれる XRP Ledger 上の新しい形式のミニスマート コントラクトによって管理されます。フックの詳細については、<https://hooks-testnet.XRP Ledger-labs.com/> を参照してください。

3.2 Evers により、Evernode からのホスティング サービスの自動売買が可能になります

ノード。ネイティブのデジタル通貨 (およびホスティング トークンと DEX の関連機能) がなければ、このプロセスは法外に煩雑になるか、絶望的に集中化されることになります。

エバース - 詳細	
名前:	エバース
ティッカー:	EVRS
最小単位は「今」。	1 現在 = 0.00000001 エバース。
配布メカニズム:	エアドロップと信頼できるノードへの報酬
報酬トリガー:	すべての瞬間 = 72 台帳ごと (推定 6 分)
最大供給数:	25,804,800
放出期間:	~59.61 年

#### Evers - 報酬排出スケジュール

3.3 プレセールや ICO は計画されていません。プロトコルは完全に開始されます

開発資金をプールすることなく機能します。Evers は、贈り物として与えられるか (特に初期には何の価値もない可能性があるため)、またはマイニングの合成形式である信頼できるノードを実行する報酬として獲得されます。

3.4 私たちは、10 エポックにわたってエバーを配布し、各エポックには 2,580,480 のエバーを配布することを提案します。

(a)エポック 1 - 開発:開始時に開発者に 2,580,480 エバー  
テストネット。

(b)エポック 2 - テスト:ノードを実行して dApp を起動することにより、Evernode の開発とテストを支援する  
人々に 2,580,480 の Ever が配布されました。

(c)エポック 3 - ローンチ:ローンチ時に、2,580,480 Evers が Flare Networks のエアドロップと同様に XRP  
保有者にエアドロップされます (つまり、アカウントを除き、ウォレットおよび参加取引所を介して  
すべての保有者に比例して)  
リップルとその創設者);そして

(d)エポック 4 ~ 10 – 報酬のホスティング:最終フェーズでは、エバーを制御するフックが新しいエバーを作成し、すべての信頼できるノード間で均等に共有される報酬として配布します。報酬は 64 エバー/モーメントから始まり、エポックごとに半分になります。最初のエポックは約 24 週間で、その後の各エポックの期間は 2 倍になります。報酬は 10 エポック後に終了します。

新しいノードは新しくて小さいほどネットワークにとって相対的に価値が高くなるため、配布は早期導入者に有利になるように偏っています。

## Evernode の報酬スケジュール案

ルール:最初のエポックでは、報酬は開発者間で共有されます。2 番目のエポックでは、報酬は次の間で共有されます。ベータテスター。3 番目のエポックでは、ほとんどの XRP 保有者に報酬がエアドロップされます。最初の 3 つのエポックの後、報酬は毎瞬間に配布されます。1 モーメントは 72 個の台帳です (推定 6 分)。報酬は適格なノード間で均等に分配されます。報酬は 64 エバー/モーメントから始まり、エポックごとに半分になります。最初のエポックは 12 週間続きます。後続の各エポックの期間は 2 倍になります。報酬は第 10 エポックの終わりに終了します。

時代	エポック期間 (推定数週間)	報酬トリガー (分/瞬間)	ホスティング報酬				合計 時代	経過 年
			あたり 一瞬	あたり 時間	あたり 日	あたり 週		
1位	エアドロップ	開発者	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	2,580,480	該当なし
2番目	エアドロップ	テスター	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	2,580,480	該当なし
3位	エアドロップ	XRPホルダー	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	2,580,480	該当なし
4位	24	6	64	640	15,360	107,520	2,580,480	0.46
5位	48	6	32	320	7,680	53,760	2,580,480	0.92
6位	96	6	16	160	3,840	26,880	2,580,480	1.85
7位	192	6	8	80	1,920	13,440	2,580,480	3.69
8位	384	6	4	40	960	6,720	2,580,480	7.38
9位	768	6	2	20	480	3,360	2,580,480	14.77
10位	1536年	6	1	10	240	1,680	2,580,480	29.54
合計	3048						25,804,800	58.61

表 1 - Evernode の報酬スケジュール

## Evers – 使用例

3.5 Evers は、Evernode 上のホスティング サービスの交換手段としてすぐに役立ちます。Evernode の dApp ホスティング サービスが価値があるのと同じくらい、それらは価値があるでしょう。Evers はネットワークの外部に価値がある場合とない場合がありますが、Evernode は Evers に外部の金銭的価値があるかどうかに関係なく機能します。

3.6 人々は、Evernode が繁栄するのを見たいので Node を実行すべきであり、Evernode 上で展開して実行する dApp を強化するために Evers を所有したいと思はずです。多くの便利で貴重な (そして収益性の高い) dApps やビジネスは、Evers が持つ外部の価値とは関係なく、Evernode 上に構築できます。

## 4. EVERNODE フック - EVERNODE のホスティング ディレクトリ

4.1 Evernode フックは、シグナルを送信したノードのレジストリも管理します。Evernode に参加したいという願望。

4.2 Evernode フックは、ノードの詳細をブロードキャストするように構成されます。

Evernode 上での利用を希望していること、dApps をホストできること、Evers で支払いを受ける意思があることなどの事実があります。フックはノードのパフォーマンスを追跡するため、dApps はノードの信頼性を確認できます。この情報は、XRP Ledger 互換のウォレットまたはブラウザプラグインからアクセスされます。

#### XRP Ledger とフックを使用する理由

4.3 HotPocket とそのデーモンである Sashimono の設計方法により、Evernode は次のことを行うことができます。

スタンドアロン チェーンとして構築されるか、トークンを発行してメッセージ ボードとして機能するのに十分なスマート コントラクト機能を備えたレイヤー 1 チェーンに「釘付け」されます。

4.4 ただし、Evernode はレイヤー 2 ソリューションとして起動するのが最適であると考えています。

XRP Ledger には一連の利点があるため、XRP Ledger を介して作成されます。オファーします。これらの利点は 2 つのカテゴリに分けられます。1 つは既存のチェーンのエコシステム内に存在することで得られる利点です。そして XRP Ledger には他のレイヤー 1 チェーンにはない利点があります。

#### 既存のエコシステムの利点

(a)統合: Evers をレイヤー 1 チェーン上のトークンとして発行することで、ウォレット、ブラウザ プラグイン、そして探検家たち。 Evernode は、Xumm などの既存の XRP Ledger ツールと相互運用します。 XRP をサポートする取引所は Evers を簡単にサポートできます。

(b) dUNL なし: レイヤ 1 チェーン上で Evers を発行することにより、別個の dUNL を持つ別個の Evernode ネットワークの必要性和分散型 dUNL の指定、識別、およびインセンティブに伴うすべての複雑さを回避します。

#### XRP Ledger の利点と他のレイヤー 1 チェーンの比較

(c)スピーディ: XRP Ledger はブロックチェーンとしては高速です。トランザクションは 3 ~ 5 秒以内に確認され、1 秒あたり最大 1500 件のトランザクションを処理できます。

(d)安い: XRP Ledger は安いです。取引にかかる費用はわずか 1 ペニーです。

(e)信頼性: XRP Ledger は信頼性があります。 8 年以上継続的に実行され、停止することなく、6,200 万以上の台帳を処理しました。

(f)安全性: XRP Ledger は二重支出に対して脆弱ではありません。バリデーターが合意に達できない場合、人間の行為者が dUNL を再構成して侵害されたノードを削除するまで台帳は停止します。

(g)ネイティブ DEX: XRP Ledger にはネイティブの分散型取引所があります。これは、Evernode の中核機能である Evers のホスティング トークンの発行と取引に非常に役立ちます。

4.5 この一連の利点により、XRP Ledger は Evernode のレイヤー 1 チェーンにとって理想的な選択肢になると私たちは信じていますが、フックの実装という 1 つの注意点があります。

## フックの必要性

4.6 フックは次のように説明されます。

---

「フックはスマートコントラクト機能をXRP Ledgerに追加します。これはトランザクションの動作とフローに影響を与える「レイヤー1」カスタムコードです。フックは、XRP Ledger アカウント上で定義される小さくて効率的なコードであり、XRP Ledger トランザクションの前後またはその両方でロジックを実行できるようになります。」

---

4.7 XRPレジャーアカウントが「ライトスマートコントラクト」として機能できるようにする小さなコードとして、フックにより、ガバナンスを通じて実装される可能性のある変更の対象となる、提案された排出スケジュールに従ってEversを鋳造し、信頼できるノードに発行できるようになりますゲーム。

4.8 フックがないと、XRP Ledger は完全に分散化された形式で Evernode をサポートする能力が不足します。フックの修正が進まない場合は、イーサリアムなどの代替チェーン、あるいはおそらく（イーサリアムのコストと遅さの理由で）バイナンス スマート チェーンに軸足を移す必要があるでしょう。

---

## 5. DEX - EVERNODE の自動ホスティング市場

5.1 Evernode は、XRP Ledger のネイティブ分散型取引所 (DEX) を利用して、ノードと dApp が Evers とホスティング トークンを交換できるようにします。

### ホスティングトークン

5.2 ノードは XRP Ledger 上でホスティング トークンを生成します。ホスティング トークンは、最小レベルの計算リソース (瞬間あたりの CPU とメモリ) を所有者に提供する「最善の努力」の約束に加えて、dApp が Evers でホストから購入できる追加の計算リソースの価格表を提供します。

### サンプル - 提案された Evernode ホスティング ルール

背景: Evers のホスティング トークンを交換します。Evers には外部の価値がない可能性があり、Evernode のポイントは、1 つのノードの障害がそれほど問題にならないように、複数のノードで dApp をホストすることです。

引き換えの保証なし: 当社は、理由の如何を問わず、または返金なしでホスティング トークンの引き換えを拒否する場合があります。

唯一の救済策: 当社がホスティング トークンを引き換えない場合、唯一の救済策はホスティング トークンを再販することです。DEX 上のトークンを使用したり、代替の Evernode ホストを検索したりできます。

最善の努力のみ: 当社は、利用可能な場合でも、特定の標準または可用性のサービスを約束するものではなく、当社が提供するサービスは厳密に「最善の努力」に基づいています。

責任なし: 法律で認められる範囲で、当社はホスティング サービスに関していかなる保証も提供せず、いかなる責任も否定します (詐欺を除く)。

プライバシー: Evernode (パブリック ブロックチェーン ネットワーク) 上の dApps にホスティング サービスを提供するために必要な場合、または法律で義務付けられている場合を除き、当社はいかなる個人情報も使用、保存、公開しません。

---

1 <https://XRP Ledger-hooks.readme.io>

5.3 これらのトークンは DEX にリストされ、dApp はそれらを Evers と交換できます。その後、DApp は、必要に応じて、指定された計算リソースとノードを使用してホスティング トークンを引き換えたり (Evers で追加リソースの支払いを行ったり)、またはそれらのトークンを DEX に交換します。

5.4 したがって、DEX は代替不可能なサービス、つまりホスティングを利用する方法として機能します。特定のサーバー上のサービス - そして、Evernode 上の全員が希望する資産を取得するまでホスティング トークンと Evers を交換できるようにすることで代替可能にします。

## DEXとXRP

5.5 特定のホストとホスティング トークンを交換および引き換えするには、dApp は XRP Ledger 上でそのホストとトラストラインを開く必要があります。これには 5 XRP のステークが必要ですが、トラストラインが閉じられた場合 (つまり、dApp がそのホストの使用を望まなくなった場合) は返されます。

## DEXの品質管理機能

5.6 DEX の重要な利点の 1 つは、DEX の品質を監視する固有の能力です。  
ノード。

5.7 ノードの信頼性を示す最良のシグナルは、DEX 上のトークンの自然な価格発見です。不良ノードはすぐに暴露され、そのトークンは敬遠されるか、ピアと比較して低価格に設定される必要があります。したがって、DEX は重要なサーキット ブレーカー機能を提供し、dApp および dApp 開発者が低品質のノードを簡単に自動識別できるようにします。

---

## 6. メリット - 優れた柔軟性、より便利な DAPPS、オンデマンド

6.1 HotPocket dApp はブロックチェーン上で実行されるのではなく、ブロックチェーンです。各 dApp は独自のチェーン履歴と専用ノードを備えた独自のブロックチェーンであるため、非常に柔軟です。

6.2 DApps はパブリックまたはプライベートにすることができます。DApps は、外部サービスを呼び出したり、ディスクや Web に直接データを読み書きしたりすることができ、通常のプログラムが実行できるあらゆるタスクを、集中管理や信頼できるサードパーティなしで、またプログラマーが独自のコンセンサス メカニズムを実装する必要もなく実行できます。

6.3 この柔軟性により、dApps の大量導入を制限する次のような多くの問題が解決されます。

(a) プライバシー コンプライアンス: dApp はデータを暗号化し、特定の管轄区域内のホスト上でのみ、またはプライバシー規制を満たすことに同意したホスト上でのみ実行できます。

(b) スケールと柔軟性: dApp は、コストとセキュリティの観点から、dApp 開発者が望むだけの数のホスト上で実行できます。

(c) オンデマンド オラクル: dApp は独自のサブセットまたは陪審員を選出できます。ノードはオフチェーンからデータを取得し、真実について合意し、オーダーメイドのオンデマンドのオラクルとしてチェーンの残りの部分に報告します。

(d) セキュリティの強化: dApps は、ホストが危険な状態になったことを検出できます。侵害されているか信頼できない場合は、dApp のそのインスタンスをシャットダウンし、レジストリから選択された別のより信頼できるノードにリロードします。

6.4 上記はすべて HotPocket の利点です。 Evernode の追加の利点は次のとおりです。

これらすべての利点は、dApp 開発者が独自の HotPocket ノードのクラスターを立ち上げて維持する必要がなく、許可のないグローバルなホスト ネットワークを通じて「オンデマンド」で利用できるようになります。

---

## 7.ガバナンスゲーム – 自己主権フックのメンテナンス

7.1 Evernode は XRP Ledger でフックを使用します。の保有者を許可することを想定しています。

エバーズはガバナンス ゲームを通じてフックの構成を競います。このガバナンス ゲームにより、エバーズの保有者は、エバーズの保有に固有の機能としてフックのパラメーターを提案し、投票することができます。

保有者がガバナンスゲームを通じて何を統治するか

7.2 ガバナンス ゲームを通じて、Evers の保有者はいくつかの案を提案し、投票します。

Evernode フックの機能に関連するものは次のとおりです。

(a) Evers:以下の方法で Evers の配布を規制します。

- (i) ブラックリストへのアドレスの追加または削除。
- (ii) アドレス内の任意の数の Ever を凍結または凍結解除する。
- (iii) 瞬間ごとの報酬を変更する。
- (iv) 瞬間ごとにブロックを変更します。
- (v) ノードが信頼できると見なされ、報酬として Evers を受け取るための新しい追加テストを指名することにより、ホスティングの証拠を「強化」します。
- (vi) 新しいフックを指名する。

(b)ホスト:以下の方法でホストのレジストリを規制します。

- (i) ブラックリストへのノードの追加または削除。
- (ii) ノードが主張するドメイン名の信頼性を確認する権限を与えられたドメイン公証人を追加または削除する。
- (iii) ホスティング トークンの正規の定義を変更する。
- (iv) 各ホストが Evernode でのホスティングを提供することに同意するルールのデフォルトのテキストを変更する。

(c)投票:次の方法でガバナンス ゲーム自体を規制します。

- (私) 提案の有効期限を新たに設定することを提案します。
- (ii) 投票に必要なトークンの数を変更する。
- (iii) 提案を行うために必要なトークンの数を変更する。

ガバナンスゲームのルール

7.3 ガバナンス ゲームは次のルールに従ってプレイされます。

- (a) 200,000 エバーを保有する人は誰でも、次の条件を満たす場合に決議を提案できます。  
投票の目的でエバーを「ロックアップ」します。
- (b) 20,000 エバーを保有している人は誰でも、投票の目的でエバーを「ロックアップ」することを条件として、決議案に投票できます。
- (c) ユーザーが「ロックアップ」した Evers 20,000 ごとに 1 票の権利が付与されます。
- (d) 決議案が提案されてから 14 日後 (XRP レジャー上のブロックで測定) に、決議案に賛成票が投じられた票数が反対票数の 2 倍になった場合、決議案は実行されます。
- (e) 決議の実施にかかる料金を支払った場合、どのユーザーも、掲載された決議を有効にすることができます。
- (f) 7 日が経過すると、いかなる決議も (たとえ提出されたとしても) 自動的に無効になります。  
(XRP Ledger 上のブロック単位で測定) 決議が可決された後、誰も決議を実施するための料金を支払っていません。
- (g) 失効した決議は誰でも取り消すことができます。

## 自己主権型ガバナンス

- 7.4 したがって、ガバナンスゲームでは、エバーズの保有者が希望すれば許可されます。  
フックの設定を巡って競争し、フックの継続的な実行可能性と目的への適合性を確保します。

---

## 8.財団 – EVERNODE のキュレーター

- 8.1 私たちは、概念的には The Evernode Foundation Ltd と呼ばれる非営利団体の設立を提案します。  
Evernode の初期のエコシステムの管理を支援します。

### 財団

- 8.2 財団は保証により限定されたオーストラリアの公開会社になります。つまり、株主ではなく会員がいます。それは非営利でしょう。その憲法は、清算時に配当や剰余資産を会員に分配することを禁止することになる。  
財団が解散した場合、その資産は同じまたは類似の物品とともに別の組織に贈与されなければなりません。

### 財団会員

- 8.3 創設メンバー以外にもメンバーシップが開かれます。  
理事会が決定するメンバーのクラス。会員開拓できそうです  
Node所有者、dApp開発者、弁護士、会計士、ベンチャーキャピタルなどの準会員向けのパッケージが用意されていますが、これらのメンバーシップの権利と資格が確定するまでには時間がかかります。

### 財団理事会

- 8.4 財団の初期理事会は、財団の目的を達成するために財団を積極的に支援することに関心があり、財団の設立に資金を提供した創設メンバーで構成されます。以降の理事会は規約に従って会員によって選出されます。

### キュレーターとしての財団

8.5 Evernode に関する財団の主な目的は、初期の Evernode エコシステムを管理することです。キュレーターとしては、次の 4 つの主な機能があります。

- (a) Evernode コードのコピーをキュレートする: コミュニティのボランティアと協力して、Evernode のオープンソース コードの信頼できるコピーをキュレーションして配布します。
- (b) ノードの運営: 財団はボランティアメンバーの協力を得て、Evernode でノードを実行します。
- (c) 公証人サービス: 財団は、信頼性を強化するために身元の確認を望んでいるホストの現実世界の身元を、オンチェーン上で確認できる最初の (おそらく多くの) 存在となるでしょう。
- (d) Stimulate Enhancements: 財団はベータテストへの参加とノードの実行により Evers を保有します。これらの Ever は主に、Evernode コードベースの機能強化に関するコミュニティ開発を刺激するための報奨金として使用されます。

---

## 9. リリース時に提案される機能

9.1 Evernode は起動時に完全に機能します。誰でもノードを実行してエバーを獲得できるようになります。誰でも Evers で dApp をデプロイして実行できます。

---

## 10. 次のステップ

10.1 Evernode が存在する前:

- (a) HotPocket が完了し、動作する必要があります。
- (b) 指物は完成し、加工されていること。
- (c) フックは完成させて実装する必要があります。
- (d) 3 つすべてが連携して機能する必要があります。

10.2 Evernode の実現を支援する最善の方法は、テストに参加することです。XRP Ledger にフックを実装します。